様式３（2015.06改）

作成日　令和元年11月22日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000050
事業所名	グループホームプルミエールさなげ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	隣接の同法人施設と合同で、定期的に地域交流活動としてのイベントを行い、地域から多くの参加を得ている。 地域の防災訓練では運営の一翼を任され、地域に認知されて交流を深めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	所属する町と隣接する町の両方から区長や民生委員の参加があり、地域包括支援センター職員や家族も交えて活発な意見交換がある。 ホームの取り組みを細かく報告し、地域からは要望も出されている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	地域包括支援センターと連携して毎月認知症カフェを開催し、地域貢献に努めている。 市の介護相談員の受け入れや豊田市介護サービス向上連絡会への参加を通じて、行政との連携を密にしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族を交え、月1回介護計画の評価を行う機会を設けており、面会時や家族会、家族アンケートと、意見や要望を聞き取る機会は多い。 家族は外出支援をしたり、検討課題を一緒に考えたりと協力的である。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○